

児童インタビュー実施概要（案）【再改定版】

1 目的

- ・ 子どもの権利条例に基づく意見聴取（第10条）
- ・ 公立保育園の役割に関連して、児童の考え（感じ方）を聴く。

2 候補日時

令和6年12月18日（水）・19日（木）・20日（金）

3 対象者

市立保育園2園の年長の園児に10人から15人程度

4 実施方法

保育士が問い掛け、保育課職員が記録を行う。

5 質問内容

園児にとっての「保育の質」について意見を聴く。表情等も観察して記録する。

- ① 保育園は楽しい？（→何をしているときに楽しい？） ※評価
 - ② 保育園で危ない・怖いと思うことはある？ ※安全性
 - ③ 自分のしたい遊びができている？（→どんな遊び？） ※主体性
 - ④ 先生は話を聴いてくれる？一緒に遊んでくれる？ ※保育士との関わり
 - ⑤ 保育園で「もっと〇〇だったらいい」ことは何？ ※希望・要望
- <観察>園児がそれぞれに楽しそうに過ごし、関わっている様子（→多様性）

6 結果報告

(1) 実施概要

(2) インタビュー結果

（例）市立保育園の「●●が好き」という声が多く、「したい遊びができている」「先生と話せている」という声が笑顔で返ってきた。また「もっと●●したい」という声も多かった。これらが園児にとって重要な「質」を考えられる。